OpenRTM-aist (Python) - バグ #2354

ExecutionContextWorkerのデッドロック

2012/02/06 06:19 - n-ando

ステータス:	却下	**開始日:**	2012/02/06
優先度:	通常	**期日:**	
担当者:	kurihara	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:			

説明

ExecutionContextWorkerにおいて、invokeWorkerXXX系の関数でm_compsをmutex保護しているため、Workerがブロッキングするケースで他の関数（get_component_state()等）との間でデッドロック（あるいは単なるロック）が発生する。
コンポーネントリストm_compsはWorkerXXXの最後で呼ばれるupdateComponentList()でのみ変更されるため、WorkerXXX()系関数ではロックを剃る必要がない。

履歴

#1 - 2012/02/08 23:42 - kurihara

- 担当者 を kurihara にセット

#2 - 2012/02/10 18:01 - kurihara

- ステータス を 新規 から 担当 に変更

#3 - 2012/03/13 14:44 - kurihara

- ステータス を 担当 から 却下 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

Python版では、このチケットが発行された後に実装されたためWorkerXXX()系関数ではロックを使用していない。